

記者発表資料

北陸地方整備局

黒部河川事務所

資料配付

平成18年 3月 15日

うなづき湖周辺の活用を考える会(仮称)が 3月16日(木)に開催されます。

うなづき湖周辺の活用を考える会(仮称)が3月16日木曜日、宇奈月町中央公民館で開催されます。

○日 時:平成18年3月16日(木)午後7時～午後9時

○開催場所:宇奈月町中央公民館

○概 要:3月7日(水)の「宇奈月ダム水源地域ビジョン策定委員会(第4回)」で報告のあった、宇奈月ダム周辺の活用策を検討した「宇奈月ダム水源地域ビジョン」について、新たな活動組織として宇奈月町ナチュラリスト研究会や宇奈月町温泉観光協会等の地域の活動グループや、企業、行政機関からなる組織の設立総会を開催します。

会議では、設立趣旨、会の名称、会則等について意見交換を行う予定です。

黒部市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省北陸地方整備局

黒部河川事務所 宇奈月ダム管理所

ダム課長 久保 昌之 内線6521

0765-62-9071(代表)



うなづき湖周辺の活用を考える会（仮称）

設 立 趣 旨（案）

宇奈月ダムは、黒部川が峡谷を貫け、扇状地に広がる直前の扇頂付近に位置しており、宇奈月温泉街に隣接する人里に近いダムです。宇奈月ダム及びその周辺は、すぐれた自然や歴史・文化などの魅力資源を有しています。ダム完成後、地域に開かれたダムとして周辺整備がすすめられ、宇奈月ダムおよびその周辺地域は、地域の人々が気軽に訪れ自然にふれられる場となりました。しかし、その魅力は地域住民や観光客にはあまり知られておらず、十分活用されているとはいえない状況です。

本会は、宇奈月ダムおよびその周辺地域の魅力資源を活用し、地域活性化や流域内の連携と交流を促すことを目的とし、黒部川流域の活動グループや個人、企業・団体、行政機関、河川管理者等がネットワークをつくり、お互いの情報を交換し活動を調整する機会をもつために設置するものです。各団体の活動を尊重しつつ、協働できる活動と一緒にいき、宇奈月ダムおよび周辺地域を、地域の人々や観光客が集う黒部川流域の核のひとつとしていきます。

